

ごあいさつ



(一社)関東テニス協会 会長

木下 信行

第38回を迎える関東実業団対抗テニスリーグ戦、昨年に引き続き、2年連続で茨城県北茨城市の磯原地区公園テニスコートで開催されますことは誠に喜ばしく存じます。こちらはソフトの国体で整備された最新の人工芝テニスコート、本大会に打ってつけのコートです。

本大会、通称関東リーグは関東地域一都七県の実業団代表チームが出場する団体戦であり、2シングルス・1ダブルスの合計3ポイントによる対抗戦で毎年熱戦が交わされる大会であります。

この大会の成績により男女共上位4チームは、10月に広島で行われる第37回全国実業団対抗テニストーナメント（全国A大会）への出場権が得られ、さらに、テニス日本リーグへの道に通じている、実業団では大変重要な大会であります。

選手の皆様は厳しい日常勤務の中、練習に励み、心身の鍛錬に取り組まれた方々と思いますが、各都県の代表チームとして、また各社の代表としてフェアプレーに徹し、持てる力・実力を発揮し思う存分活躍されることを期待しております。

テニス界ではトッププレイヤーばかりが目立ちますが、数多い社会人プレイヤーの頑張りによって日本のテニス界を盛り上げてくださることを願っております。

そして選手の皆様には、テニスには勝敗だけでは得られない数多くのものを獲得できるような友好の場としてくださることを祈念しております。

近年、女子チーム出場の減少が顕著となっています。テニスは、スポーツの中で男女が一堂に会して大会を持てる数少ない競技です。テニスとしては、女子チームの先行きを心配しているところです。各実業団が男女一緒に参加して頂けるとありがたいと思います。

最後になりますが、本大会の開催にあたりご後援頂きました北茨城市様ならびに北茨城市教育委員会様、ご協賛頂きました(株)ダンロップスポーツマーケティング様、東武トップツアーズ(株)水戸支店様、また大会運営にご協力頂きました茨城県テニス協会様ならびに大会役員の皆様に厚く御礼申し上げます。